

- American College of Physicians (ACP) Japan Chapter
年次総会・講演会 2024 ご報告
- 第 56 回日本医学教育学会大会 合同シンポジウムについて
- 第 83 回日本公衆衛生学会総会でのシンポジウム開催について
- 「第 97 回日本産業衛生学会」のご報告
- 「第 28 回日本医療情報学会春季学術大会」のご報告
- 「第 62 回日本医療・病院管理学会学術総会 2024」のご案内
- 「第 83 回日本公衆衛生学会総会」のご案内
- 「第 72 回日本職業・災害医学会学術大会」のご案内
- 事務局からのお知らせ

American College of physicians (ACP) Japan Chapter 年次総会・講演会 2024 ご報告

業務執行理事 和田 裕雄（順天堂大学）

American College of Physicians (ACP) Japan Chapter 年次総会・講演会 2024 にてシンポジウムを行いました。以下、概要を報告致します。

- 日時 : 2024 年 6 月 23 日（日）12:40~13:40
- 会場 : 国際医療福祉大学 赤坂キャンパス
- テーマ : 臨床研究論文をいかに Publish するか：公衆衛生との知の融合 How to Publish
Clinical Research Papers: Fusion with Public Health Academia
- 座長 : 今中 雄一（社会医学系専門医協会理事長・京都大学）
和田 裕雄（社会医学系専門医協会理事・順天堂大学）
- シンポジスト : 今中 雄一（社会医学系専門医協会理事長、京都大学）
山本 洋介（京都大学）
筒泉 貴彦（高槻病院）
矢野（五味）晴美（ACP 日本支部長・国際医療福祉大学）

当日は、今中理事長より社会医学系専門医協会の紹介に始まり、続く本シンポジウムの趣旨説明では、このテーマの重要性が強調された。次に山本先生より、リサーチクエスチョン、クリニカルクエスチョンの立て方という基本から如何に論文へと昇華させるか、という非常に貴重なお話を頂いた。これらをもとに、筒水先生より、具体的に論文を書いた経験を通じたお話を頂いた。以上の議論について、矢野先生より、American College of Physicians (ACP) 日本支部長の立場から、「研究」「論文執筆」を奨励していること、国際学会への参加・発表を奨励していること、など ACP 日本支部の具体的な活動も含めて紹介頂いた。その後、活発な質疑、議論もあり本テーマの重要性がよく理解できた。また ACP 日本支部と社会医学系専門医協会とが共同作業可能であることを確信させるシンポジウムであった。

第 56 回日本医学教育学会大会 合同シンポジウムについて

幹事 亀田 義人（順天堂大学）

第 56 回日本医学教育学会大会（2024 年 8 月 9 日（金）～10 日（土））において、日本医学教育学会と当協会が合同シンポジウムを開催します。

第 56 回日本医学教育学会大会 シンポジウム5

日 時：2024 年 8 月 9 日（金） 15:10～16:40

場 所：帝京大学板橋キャンパス

URL：<https://www.jsme56.org/>

テーマ：日本医学教育学会×社会医学系専門医協会合同企画

「パネルディスカッションー医学教育学と社会医学の共通性ー」

座長（敬称略）：

錦織 宏（名古屋大学・日本医学教育学会）

磯 博康（国立国際医療研究センター・社会医学系専門医協会）

シンポジスト（敬称略）：

守屋 利佳（北里大学・日本医学教育学会）

「日本医学教育学会の取り組み及び認定医学教育専門家制度について」

今中 雄一（京都大学・社会医学系専門医協会）

「社会医学系専門医協会の取り組みークロスキャリア及び友好学会制度の構築ー」

森下 真理子（京都大学・日本医学教育学会）

「医学教育学と社会医学，人文社会科学との近接」

亀田 義人（順天堂大学・社会医学系専門医協会）

「医療・病院管理学領域での医学教育の取り組みと重要性」

第 83 回日本公衆衛生学会総会でのシンポジウム開催について

業務執行理事 和田 裕雄（順天堂大学）

第 83 回日本公衆衛生学会総会（学会長：玉腰 暁子（北海道大学大学院医学研究院公衆衛生学教室 教授））のシンポジウムにて、今中 雄一先生が登壇します。以下に概要を示します。

会期 : 2024 年 10 月 30 日(水) 10:45~12:20

会場 : 札幌コンベンションセンター 2 階 小ホール

テーマ : 社会医学と臨床医学の連続・相互補完

座長 : 今中 雄一（社会医学系専門医協会理事長・京都大学）
和田 裕雄（社会医学系専門医協会業務執行理事・順天堂大学）

シンポジスト : 矢野 晴美（ACP 日本支部長・国際医療福祉大学（成田））

錦織 宏（日本医学教育学会・名古屋大学）

今中 雄一（社会医学系専門医協会・京都大学）

特別発言 : 林 修一郎（厚生労働省）

概要 : 社会医学と臨床医学を別物・別世界とする見方は、既に旧式のステレオタイプとなっている。社会医学と臨床医学とは、その実践と科学において、別々の独立単体ではなく、連続しており、相互補完的でもある。公衆衛生に加え、臨床医療・臨床研究、人材育成、健康危機管理、制度・政策の視点から、具体例をもって検討を深め、社会医学と臨床医学の連続性・相互補完性をより有効に活用した相互発展へと繋げる。

学会のご報告

第 97 回日本産業衛生学会のご報告



第 97 回日本産業衛生学会企画運営委員長
三菱ケミカルグループ株式会社 全社統括産業医
真鍋 憲幸

第 97 回 日本産業衛生学会は 2024 年 5 月 22 日（水）から 25 日（土）までの 4 日間は現地開催及び一部ライブ配信にて、6 月 17 日（月）から 7 月 8 日（月）までの 22 日間はオンデマンド配信にて開催しました。広島市中心地の平和公園内にある広島国際会議場と、そこから旧太田川(本川)を挟んで隣接する中国新聞本社ビルを現地会場としました。天気にも恵まれ、予定の 4,500 名を大きく上回る 5,367 名の方に参加を頂きました。

今回の学会はいくつもの新たな試みを導入した学会となりました。一つ目は、ビーコンカードを導入した新しい方法で日本医師会認定産業医制度の単位受講履歴の把握を行ったことが挙げられます。いくつか課題は残りましたが、想定以上の参加来場者のため混雑が想定されたにもかかわらず、会場入り口に長時間列を作ることなくスムーズに運営が行うことができました。次に、参加者の声を尊重し、希望を学会に反映するといった観点から、X や NOTE、youtube を利用した発信や、学会 HP に「おもてなし要望について」欄を設置し、参加者側の意見を広く募る場を作成しました。学会開催までに得た要望は 50 通以上におよび、託児所の充実や、ワークスペースの確保、エクスカージョンを代表とする地域の観光スポットの紹介、交流企画など初参加や一人でも参加しやすい企画の設定、日本薬剤師研究センター研修認定薬剤師制度単位が取得可能な企画の設定など、学会のニーズを把握し、参加へのモチベーションにつながるヒントが多く得られました。また、2029 年に開催予定の弊学会 100 周年学会にむけた記念リレー企画として、「学会になぜ参加したのか」、「これからの学会に何を望むのか」、「100 年後の産業保健はどうなっているか？」など広くアンケートを実施し、多くの回答をいただきました。これらの情報は、参加者の声として次回以降の年次総会運営の参考にしたいと思っています。

今回の大会テーマは、「変革期における産業保健のアイデンティティサイエンスに基づく組織と労働者の両立支援—」とさせて頂きました。人口減少・少子高齢化による人材・働き手不足や、新型コロナウイルス感染症パンデミックによる、働く「場」の概念や働き方そのものを多様化など、近年の労働者のはたらく環境は顕著な変革期にあります。そのような変革期の中で産業保健職には、サイエンスに裏付けられたソリューションを、各組織のあり方に合わせたシステムとして組織内に実装し、組織に参加する個々の

労働者をまもり、そのことを企業はもちろん自治体や病院、学校など多様な組織の活性化にもつなげる、すなわち組織と労働者の両立支援が求められています。この学会がそういった職域で起こっている問題の報告や議論の場となり、組織での活動の一助になればとの思いでした。

特別講演は、近畿大学法学部の三柴丈典先生より「産業医・産業保健と「生きた法」～政策と事件から得られる実務への示唆～」、基調講演は、厚生労働省労働保険審査会の廣尚典先生より「精神障害と労災補償一新基準の要点と産業保健職の関わりに関する考察」としてご講演いただきました。また、多様性を尊重したプログラムを行いたいとの観点から、すべての公式企画（教育講演 12 件、シンポジウム 27 件、交流イベント 3 件）を公募制で開催、合わせて部会・委員会フォーラム 5 件、International Session、地域交流集会（市民公開講座）などを開催しました。一般演題は口演発表が 263 演題、ポスター（オンデマンド）発表が 241 演題の計 504 演題でした。今回は学会へよせられた要望に応え、学会所属年数の浅い会員を中心に座長をお願いし、座長の若返りを図りました。多くの会場で参加者があふれる中、意義のある報告と活発なディスカッションが行われました。

社会医学系専門医に関連しては、指導医講習会をはじめ必須受講項目である「医療倫理」、「感染対策」、「医療安全」、「指導医講習会」に加えて K 単位対象の選択受講項目として多くのセッションを実施させて頂きました。延べ 約 900 名の受講をいただきました。産業保健分野に関係する社会医学系人材の多さや熱意を改めて感じた次第です。

本学会での企画が、社会医学に係る皆様の研修に貢献できたことを祈念し、開催御礼のご挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。

第 28 回日本医療情報学会春季学術大会(シンポジウム 2024 in ちば)のご報告

第 28 回日本医療情報学会春季学術大会 (シンポジウム 2024) 大会長
千葉大学医学部附属病院企画情報部
鈴木 隆弘

・「つなぐ」をテーマに、医療と社会の未来を探求

2024 年 6 月 13 日から 15 日、千葉県木更津市のかずさアカデミアホールにて、第 28 回日本医療情報学会春季学術大会が盛大に開催されました。「つなぐ」をテーマに 1,650 名の登録者と 1,000 名を超える現地参加者が集結し、医療情報の分野における連携強化と、医療と社会の未来を展望する活発な議論が繰り広げられました。

・情報システムの本質「つなぐ」の重要性

現代社会において情報システムは単なるツールではなく、人々や組織、情報を繋ぎ、新たな価値を生み出す役割が求められています。医療情報の分野でも、医療従事者同士やシステム同士の連携が不可欠であり、本大会では、病院と診療所、患者と医療従事者、臨床と研究など、様々なレベルでの情報連携を促進する革新的な取り組みが数多く発表されました。

・ゲノムから社会まで、幅広い視点で医療の未来を展望

社会医学の領域からも多くの発表者が登壇し、ゲノム情報から社会まで、医療を取り巻く様々な情報を繋ぎ、より良い医療と社会の実現に向けた取り組みが発表されました。

・交通アクセスへの懸念を払拭し、活発な交流を促進

当初は、開催地であるかずさアカデミアホールへのアクセスが懸念されていましたが、大会事務局は、SNS を活用した情報発信や、宿泊・交通・食事に関するサポート体制の充実など、参加者へのきめ細やかな配慮を行うことで、多くの参加者にとってスムーズな参加環境を実現しました。その結果、当初の懸念を払拭して活発な交流と意見交換の場となりました。

・千葉大学チームの奮闘とコアメンバーの尽力

本大会の成功は、鳥飼幸太プログラム委員長、土井俊祐実行委員長、井出博生総務委員長をはじめとするコアメンバーの尽力に加え、千葉大学チームの献身的なサポートによって支えられました。特に、千葉大学では、本年 1 月にシステム更新が行われるという多忙な状況にもかかわらず、関係者全員が一丸となって大会運営を成功に導きました。

・情報連携の重要性と将来展望

今回の学術大会は、情報をつなぐことの重要性とその実現に向けた具体的な取り組みを改めて示し、医療と社会の未来に向けた新たな展望を描き出す場となりました。今後も、医療情報の分野における連携強化と、情報技術を活用した医療の質向上に向けた取り組みが更に加速していくことが期待されます。

学会開催のご案内

第 62 回日本医療・病院管理学会学術総会

 ホームページ <https://jsha62th.org/index.html>

第62回日本医療・病院管理学会学術総会

改めて考える医療の
「質」と「効率」

学術総会長：福田 敬
(国立保健医療科学院 保健医療経済評価研究センター長)




病院管理研修所発足 (1949) 東京第一病院と研修所 病院管理研究所 (戸山庁舎) 国立保健医療科学院 (和光市)

特別講演『これからの医療・介護を考える』
 田中 滋 先生 (埼玉県立大学理事長、慶應義塾大学名誉教授)

2024年10月26日(土) 27日(日)
 於：国立保健医療科学院 (埼玉県和光市)

第62回日本医療・病院管理学会学術総会 運営事務局
 株式会社ワールドプランニング内
 電話：03-5206-7431 jsha62th@worldpl.co.jp
 10:00~12:00/13:00~17:00 (土日・祝日除く)



会 期 2024年10月26日(土)~27日(日)

会 場 国立保健医療科学院 (〒351-0104 埼玉県和光市南 2-3-6)

テー マ 改めて考える医療の「質」と「効率」

学術総会長 福田 敬 (国立保健医療科学院 保健医療経済評価研究センター センター長)

 学会事務局 一般社団法人日本医療・病院管理学会 <https://www.jsha.gr.jp/>
 〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
 TEL:03-6824-9394 FAX:03-5227-8631 E-mail:jsha-post@as.bunken.co.jp

 運営事務局 第 62 回日本医療・病院管理学会学術総会 運営事務局
 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1 オザワビル 2F 株式会社ワールドプランニング内
 TEL:03-5206-7431 FAX:03-5206-7757 E-mail:jsha62th@worldpl.co.jp

第 83 回日本公衆衛生学会総会

ホームページ <https://plaza.umin.ac.jp/jsph83/index.html>



会期 2024年10月29日(火)~31日(木)

会場 札幌コンベンションセンター(〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1 TEL:011-817-1010)、
札幌市産業振興センター(〒003-0005 札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1 TEL:011-820-3033)

テーマ ともにいきる 協創を拓く対話

学会長 玉腰 暁子 (北海道大学大学院医学研究院 社会医学分野公衆衛生学教室 教授)

実行委員会事務局・総会事務局

北海道大学大学院医学研究院 社会医学分野公衆衛生学教室

〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目

運営事務局 株式会社イー・シー

〒060-0807 札幌市北区北7条西4丁目8-3 北口ヨシヤビル5F

TEL:011-299-5910 FAX:011-299-5911 E-mail:jsph83@ec-mice.com

第72回日本職業・災害医学会学術大会

 ホームページ <https://procomu.jp/jsomt72/index.html>


第72回
日本職業・災害医学会学術大会
 災害に強い医療体制の構築へ・
 その時何をすべきか

会期 2024年**11月23日(土)~24日(日)**
 会場 **昭和大学 上條記念館** (東京都品川区旗の台)
 会長 **恩田 秀寿** (昭和大学医学部眼科学講座 主任教授)

[主催事務局]
 昭和大学医学部眼科学講座
 〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8

[運営事務局]
 株式会社プロコムインターナショナル
 〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9F
 E-mail : jsomt72@procom-i.jp

演題募集期間
 2024年5月23日(木)~7月23日(火)

事前参加登録期間
 2024年9月3日(火)~11月24日(日)

<https://procomu.jp/jsomt72/>

会 期 2024年11月23日(土)~24日(日)
 会 場 昭和大学 上條記念館 (〒142-0064 東京都品川区旗の台1丁目1番地20)
 テー マ 災害に強い医療体制の構築へ・その時何をすべきか

会 長 恩田 秀寿 (昭和大学医学部眼科学講座 主任教授)

主催事務局 昭和大学医学部眼科学講座
 〒142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8

運営事務局 株式会社プロコムインターナショナル
 〒135-0063 東京都江東区有明 3-6-11 TFTビル東館 9F
 E-mail : jsomt72@procom-i.jp

事務局からのお知らせ

【会員専用ページ・各種届出書式DLページ開設のお知らせ】

このたび、ホームページ内において、会員専用ページを開設いたしましたのでお知らせいたします。
下記 URL 上部 「会員マイページログイン」 のバナーより会員専用ページにアクセスいただくことが可能です。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/specialist/memberpage/>

住所変更などについて会員専用ページで変更可能となっております。会員専用ページへのログインにはログイン ID/パスワードが必要となります。ログイン ID が不明な際は下記の要領にて協会事務局 (jbphsm@asas-mail.jp)までご連絡ください。

件名：社会医学系専門医協会：ログイン ID 照会（会員ページログインのため）

- ①氏名
- ②ご所属先
- ③生年月日（19XX/●●/△△）

社会医学系専門医協会事務局
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13-4F
学会支援機構内
jbphsm@asas-mail.jp
Tel: 03-6821-7388 Fax: 03-5981-6012